

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	6	↑3	「薬学演習Ⅳ」および「総合薬学演習Ⅰ」は4単位、「薬学演習Ⅵ」および「総合薬学演習Ⅱ」は6単位であり、両者の合計は10単位となり	「薬学演習Ⅳ」、「総合薬学演習Ⅰ」および「総合薬学演習Ⅱ」は各4単位、「薬学演習Ⅵ」は6単位であり、両者の合計は新カリキュラムでは10単位、旧カリキュラムでは8単位となり
2	7	1	ともに約5.3%である。	新カリキュラムでは5.3%、旧カリキュラムでは4.2%である。
3	7	4	6単位 31.6%	4単位 21.1%
4	10	6	選択必修 18 単位	選択必修 20 単位
5	10	7	必修 33 単位、	必修 37 単位、
6	14	5	実施している	実施予定である
7	22	4-5	4. 評価方法、5. 準備学習	4. 準備学習、5. 評価方法
8	23	7-8	実験実習は、11 実習合計 10.5 単位	実験実習は、12 実習合計 11 単位
9	23	9	実習科目の一つに	実習科目を一つに
10	27	2	到達目標	行動目標
11	28	2-3	および「薬局管理学」	削除
12	28	7	講義 36 コマ、実習・演習 101 コマ	講義 32 コマ、実習・演習 105 コマ
13	28	8-10	これらは…122 コマに加えて、本学部…7 コマを含んでいる。	この中には本学部…7 コマを含んでいる。
14	29	3	、「薬局管理学」を4月10日～5月29日	削除
15	30	8	1月26日	1月25日
16	30	↑3	23名の教員から構成している	4つの小委員会で構成される
17	31	1-2	各委員会の委員長が業務を指揮し、OSCE 実施委員長が全体を統括している。	各小委員会の委員長が業務を指揮すると共に OSCE 実施委員となり、OSCE 実施委員長が全体を統括している。
18	31	19	CBT 実施委員会 (8名) を組織し	CBT 実施委員会 (10名) を組織し

19	32	1	医療薬学部門の教員 <u>12</u> 名	医療薬学部門の教員 <u>13</u> 名
20	32	2	講師 1 名、助教 3 名)	講師 1 名、助教 3 名、 <u>助手 1 名</u>)
21	37	↑5	より、実務実習 <u>担当者</u> が	より、実務実習 <u>統括教員</u> が
22	44	表 6-2	薬剤学実習 実質単位数 <u>1.0</u>	薬剤学実習 実質単位数 <u>1.5</u>
23	44	表 6-2	TDM・薬物代謝学 <u>実習</u>	TDM・薬物代謝学 <u>演習</u>
24	44	表 6-2	合計 <u>21.5</u>	合計 <u>22</u>
25	44	↑2	<u>21.5</u> 単位であり (表 6-2)、	<u>22</u> 単位であり (表 6-2)、
26	55	↑2-1	平成 27 年度に 4 名、その他の年度には	平成 27 年度に 4 名、 <u>平成 29 年度に 4 名</u> 、その他の年度には
27	57	↑1	<u>3</u> ポリシー委員会	<u>三</u> ポリシー策定委員会
28	64	↑1	平成 <u>26</u> 年度、平成 <u>27</u> 年度	平成 <u>25</u> 年度、平成 <u>26</u> 年度
29	67	17	<u>学生相談室</u> に訪れた	<u>カウンセリング室</u> に訪れた
30	71	8	学生数は <u>16~35</u> 名	学生数は <u>10~33</u> 名
31	77	2	<u>2.2</u> %	<u>2.3</u> %
32	77	3	50 歳 <u>以下</u> の	50 歳 <u>未満</u> の
33	87	7	<u>360</u> 名の	<u>396</u> 名の
34	87	↑1	<u>延床面積 703</u> m ²	<u>総床面積 689</u> m ²
35	96	10	1) <u>使命</u>	1) <u>使命・目的等</u>
36	98	↑2	第 <u>356</u> 回	第 <u>359</u> 回

■基礎資料

	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	1-1	1-2	(基礎資料 1-1)訂正版 (平成31年1月21日提出)		赤字部分
2	1-2	3	(基礎資料 1-2)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分
3	1-3	6	(基礎資料 1-3)訂正版 (平成30年10月22日提出) 表1 枠外	※論理学、放射薬品学、臨床コミュニケーション演習の単位は、配当年次変更により開講しなかったため、単位数の合計には含んでいない	赤字部分 削除
4	1-7	11	(基礎資料 1-7)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分
5	2-1	20	(基礎資料 2-1)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分
6	2-4	23	(基礎資料 2-4)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分
7	6	121, 124, 126	(基礎資料 6)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分
8	12-1	147	(基礎資料 12-1)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分
9	15	178	(基礎資料 15)訂正版 (平成30年10月22日提出)		赤字部分追加

以下を添付

- ・基礎資料 1-1 訂正版
- ・基礎資料 1-2 訂正版
- ・基礎資料 1-3 訂正版
- ・基礎資料 1-7 訂正版

- 基礎資料 2-1 訂正版
- 基礎資料 2-4 訂正版
- 基礎資料 6 訂正版
- 基礎資料 12-1 訂正版
- 基礎資料 15 訂正版

(基礎資料 1-1) 学年別授業科目

新カリキュラム (平成27年度以降の入学生)

		1 年 次 (2017 (平成29) 年度 実施)							
		科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法		単位数
教養教育・語学教育	※1 (選) こどもの発達A	後期	33	1	33	コ			※1 から 1~4年で 4単位以上 選択必修 (各1単位)
	※1 (選) こどもの発達B	後期	28	1	28	コ			
	※1 (選) 医薬の歴史A	前期	73	1	73	コ			
	※1 (選) 医薬の歴史B	前期	67	1	67	コ			
	※1 (選) 現代の社会福祉B	集中	34	1	34	コ			
	※1 (選) 高齢者の健康A	前期	39	1	39	コ			
	※1 (選) 高齢者の健康B	前期	36	1	36	コ			
	※1 (選) 基礎薬学計算	前期	68	1	68	コ	演		
	※2 (選) 言語学A	前期	57	1	57	コ			
	※2 (選) 言語学B	前期	56	1	56	コ			
	※2 (選) 哲学A	前期	43	1	43	コ			
	※2 (選) 哲学B	前期	38	1	38	コ			
	※2 (選) 文化学A	後期	78	1	78	コ	演		
	※2 (選) 文学A	前期	18	1	18	コ	演		
	※2 (選) 文学B	後期	9	1	9	コ	演		
	※3 (選) 経済学A	前期	49	1	49	コ	S		
	※3 (選) 経済学B	前期	45	1	45	コ	S		
	※3 (選) 社会学A	後期	28	1	28	コ			
	※3 (選) 社会学B	後期	30	1	30	コ			
	※3 (選) 歴史学A	後期	40	1	40	コ			
	※3 (選) 歴史学B	後期	31	1	31	コ			
	薬学英語 I	前期	52	2	104	演			1
	薬学英語 II	後期	53・52	2	105	演			1
	※4 (選) 英語検定 I	前期	37	1	37	演			
	※4 (選) 英語検定 II	前期	37	1	37	演			
	※4 (選) 基礎英語演習	前期	28	1	28	演			
	※4 (選) 英語検定 III	後期	34	1	34	演			
	※4 (選) 英会話 I	前期	31	1	31	演			
	※4 (選) 英会話 II	前期	31	1	31	演			
	※4 (選) 英会話 III	後期	26	1	26	演			
	※4 (選) 中国語 I	前期	30	1	30	演			
	※4 (選) 中国語 II	前期	29	1	29	演			
	※4 (選) 中国語 III	後期	26	1	26	演			
	※5 (選) 体育 A	前期	6・55	2	61	技			
	※5 (選) 体育 B	前期	2・56	2	58	技			
	※5 (選) 美術 A	前期	12	1	12	技			
	※5 (選) 美術 B	前期	14	1	14	技			
	※5 (選) 書写 A	前期	17	1	17	技			
	※5 (選) 書写 B	前期	16	1	16	技			
	数学 I	前期	78・26	2	104	コ	演		1
数学 II	後期	107	1	107	コ	演		1	
化学 I	前期	70・34	2	104	コ	演		1	
化学 II	前期	104	1	104	コ			1	
物理学 I	前期	105	1	105	コ	演		1	
物理学 II	前期	19・62・23	3	104	コ	演		1	
生物学 I	前期	104	1	104	コ			1	
生物学 II	前期	107	1	107	コ			1	
化学熱力学入門	後期	107	1	107	コ			1	
フレッシュマンウィーク	入学直後	104	1	104	コ	演		0.5	
フレッシュマンセミナー	前期	104	1	104	コ	演	S	0.5	
情報科学講義	前期	104	1	104	コ			1	
倫理学	前期	104	1	104	コ			1	
心理学の基礎	後期	104	1	104	コ			1	
薬学入門	前期	104	1	104	コ			1	
健康科学入門	後期	105	1	105	コ			1	

薬学専門教育	生化学 I	後期	107	1	107	コ			1
	機能形態学 I	後期	108	1	108	コ			1
	有機化学 I	後期	106	1	106	コ			1
	基礎分析化学	後期	106	1	106	コ			1
	物理化学 I	後期	108	1	108	コ			1
	薬学と法	後期	105	1	105	コ			1
実習	薬学基礎実習	後期	107	1	107	実	演		1.5
演習	基礎科学演習 I	前期	104	1	104	コ	演		1
	基礎科学演習 II	前期・後期	106	1	106	コ	演		1.5
	IT技能演習 I	前期	52	2	104	演			1
	IT技能演習 II	後期	52	2	104	演			1
	日本語表現演習 I	前期	104	1	104	演			1
	日本語表現演習 II	後期	52	2	104	演			1
	チーム医療学演習 I	前期	104	1	104	演			1
	チーム医療学演習 II	後期	104	1	104	演			1
	薬学演習 I	後期	106	1	106	演			1
単位数の合計							(必須科目)		34
							(選択科目：教養教育1～4年)		15
							合計		49

(凡例)

講義=コ PBL/SGD=S 演習=演

実習=実 実技=技

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
- 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマニズム教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。

- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記：講義=コ、PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加減し、記入してください。

(基礎資料1-2) 学年別授業科目

新カリキュラム(平成27年度以降の入学学生)

		2 年 次 (2017(平成29)年度 実施)								
		科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法		単位数	
教養教育・語学教育	※1(選) こどもの発達A	後期	8	1	8	コ			※1から1~4年で4単位以上選択必修(各1単位)	
	※1(選) こどもの発達B	後期	5	1	5	コ				
	※1(選) 医薬の歴史A	前期	12	1	12	コ				
	※1(選) 医薬の歴史B	前期	11	1	11	コ				
	※1(選) 現代の社会福祉B	集中	8	1	8	コ				
	※1(選) 高齢者の健康B	前期	9	1	9	コ				
	※2(選) 言語学B	前期	24	1	24	コ				※2から1~4年で4単位以上選択必修(各1単位)
	※2(選) 哲学A	前期	24	1	24	コ				
	※2(選) 哲学B	前期	15	1	15	コ				
	※2(選) 文化学A	後期	43	1	43	コ	演			
	※2(選) 文学A	前期	2	1	2	コ	演			
	※2(選) 文学B	後期	3	1	3	コ	演			※3から1~4年で4単位以上選択必修(各1単位)
	※3(選) 経済学A	前期	13	1	13	コ	S			
	※3(選) 経済学B	前期	19	1	19	コ	S			
	※3(選) 社会学A	後期	21	1	21	コ				
	※3(選) 社会学B	後期	24	1	24	コ				
	※3(選) 歴史学A	後期	26	1	26	コ				1
	※3(選) 歴史学B	後期	17	1	17	コ				
	薬学英語Ⅲ	前期	34	2	68	演			1	
	薬学英語Ⅳ	後期	68	1	68	演			1	
	※4(選) 英語検定Ⅰ	前期	3	1	3	演			※4から1~4年で2単位以上選択必修(各0.5単位)	
	※4(選) 英会話Ⅰ	前期	7	1	7	演				
	※4(選) 英会話Ⅲ	後期	3	1	3	演				
	※4(選) 中国語Ⅰ	前期	12	1	12	演				
	※4(選) 中国語Ⅱ	前期	6	1	6	演				
	※4(選) 中国語Ⅲ	後期	4	1	4	演			※5から1~4年で1単位以上選択必修(各0.5単位)	
※5(選) 体育A	前期	17	1	17	技					
※5(選) 体育B	前期	15	1	15	技					
※5(選) 美術A	前期	2	1	2	技					
※5(選) 美術B	前期	3	1	3	技					
※5(選) 書写A	前期	1	1	1	技			1		
統計学	前期	67	1	67	コ	演				
医療コミュニケーション論	前期	67	1	67	コ	演		1		
薬学専門教育	生化学Ⅱ	前期	78	1	78	コ			1	
	生化学Ⅲ	後期	73	1	73	コ			1	
	機能形態学Ⅱ	前期	74	1	74	コ			1	
	解剖学	後期	68	1	68	コ			1	
	免疫学	後期	68	1	68	コ			1	
	微生物学	前期	99	1	99	コ			1	
	有機化学Ⅱ	前期	69	1	69	コ	演		1	
	有機化学Ⅲ	後期	70	1	70	コ	演		1	
	機器分析学	後期	73	1	73	コ	演		1	
	薬用植物学	前期	68	1	68	コ			1	
	生薬学	後期	74	1	74	コ			1	
	薬品分析化学	前期	72	1	72	コ			1	
	臨床分析化学	後期	69	1	69	コ			1	
	物理化学Ⅱ	前期	73	1	73	コ			1	
	環境衛生学Ⅰ	後期	68	1	68	コ			1	
	栄養化学	後期	71	1	71	コ			1	
	薬の効き方と作用点	前期	68	1	68	コ			1	
	末梢神経に作用する薬と生体反応	前期	72	1	72	コ			1	
	生体内で生み出される生理活性物質	後期	75	1	75	コ			1	
	薬と病態(内分泌疾患)	後期	72	1	72	コ			1	
	薬と病態(アレルギー・免疫疾患)	後期	72	1	72	コ			1	
	物理薬理学	後期	77	1	77	コ			1	
	医療と法	後期	67	1	67	コ			1	
	医療倫理Ⅰ	前期	67	1	67	コ			1	

演習	臨床コミュニケーション演習	開講せず	—	—	—	演			0.5
	TDM・薬物代謝学演習	後期	96	1	96	演			0.5
	薬学演習Ⅲ	後期	96	1	96	演			1
単位数の合計								(必須科目)	34
								(選択科目：教養教育1～4年)	15
								(選択科目：アドバンス3～6年)	9
								合計	58

(凡例)
講義=コ PBL/SGD=S 演習=演
実習=実 実技=技

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
- 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

ヒューマンズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記：講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料1-7)訂正版 (平成30年10月22日提出)

(基礎資料1-7) 学年別授業科目

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

新カリキュラム (開講予定科目を含む) (平成27年度以降の入学生)

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	7	7
教養教育科目	27	(選択必修) 13
語学教育科目	16	(必修) 6 (選択必修) 2
医療安全教育科目	3	4
生涯学習の意欲醸成科目	4	4
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目	7	6

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

新カリキュラム (開講予定科目を含む) (平成27年度以降の入学生)

学 年	単位数		
	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	34		34
2 年 次	36	15	36
3 年 次	34		34
4 年 次	24	9	24
5 年 次	21		21
6 年 次	16		16
合計	165	24	189

(基礎資料2-1) 評価実施年度における学年別在籍状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
入学年度の入学定員 ¹⁾	140	140	140	140	140	140
入学時の学生数 ²⁾	104	68	86	119	125	78
在籍学生数 ³⁾	108	80	95	112	91	104
過年度在籍者数 ⁴⁾	留年による者	15	17	27	6	44
	休学による者	0	0	0	0	0
編入学などによる在籍者数	0	5	7	3	1	8
ストレート在籍者数 ⁵⁾	104	60	71	82	84	52
ストレート在籍率 ⁶⁾	1.00	0.88	0.83	0.69	0.67	0.67
過年度在籍率 ⁷⁾	0.04	0.19	0.18	0.24	0.07	0.42
		(C+D)/B				

- 1) 各学年が入学した年度の入学者選抜で設定されていた入学定員を記載してください。
- 2) 当該学年が入学した時点での実入学者を記載してください。
- 3) 評価実施年度の5月1日現在における各学年の在籍学生数を記載してください。
- 4) 過年度在籍者数を「留年による者」と「休学による者」に分けて記載してください。休学と留年が重複する学生は留年者に算入してください。
- 5) (在籍学生数) - [(過年度在籍者数) + (編入学などによる在籍者数)]を記載してください。
ストレート在籍者数 [B-(C+D+E)]
- 6) (ストレート在籍者数) / (入学時の学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。
- 7) (過年度在籍者数) / (在籍学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。

(基礎資料2-4) 評価実施年度の直近5年間における学士課程修了(卒業)状況の実態

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業判定時(年度末)の在籍学生数 ¹⁾ A	93	126	118	116	103
学士課程修了(卒業)者数 B	46	78	66	80	80
卒業率 ²⁾ B/A	0.49	0.62	0.56	0.69	0.78
卒業までに要した 在学期間別の 内訳 ³⁾	6年 C	28	52	45	54
	7年	6	10	9	13
	8年	12	8	1	8
	9年以上	0	8	11	5
入学時の学生数(実入学者数) ⁴⁾ D	55	93	103	96	78
ストレート卒業率 ⁵⁾ C/D	0.51	0.56	0.44	0.56	0.62

1) 9月卒業などの卒業延期生、休退学者を除いた数字を記載してください。

2) 卒業率 = (学士課程修了者数) / (6年次の在籍者数) の値 (B/A) を小数点以下第2位まで記載してください。

3) 「編入学者を除いた卒業者数」の内訳を卒業までに要した期間別に記載してください。

4) それぞれの年度の6年次学生(C)が入学した年度の実入学者数(編入学者を除く)を記載してください。

5) ストレート卒業率 = (卒業までに要した在学期間が6年間の学生数) / (入学時の学生数) の値 (C/D) を、小数点以下第2位まで記載してください。

平成29年7月								
(週)	(曜日)	(日)	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	
第2週	月	3日		S305、S504講義				
	火	4日			S505 PBL	S505 PBL	S505 PBL	
	水	5日						
	木	6日						
	金	7日						
第3週	月	10日		S604講義				
	火	11日			S203、S204講義	S301、S303~S305演習		
	水	12日						
	木	13日						
	金	14日						
第4週	月	17日	祝日					
	火	18日			アドバンス講義	アドバンス講義	アドバンス講義	
	水	19日						
	木	20日						
	金	21日						
第5週	月	24日						
	火	25日						
	水	26日						
	木	27日						
	金	28日						
第6週	月	31日						
	火							
	水							
	木							
	金							

平成29年10月								
(週)	(曜日)	(日)	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	
第1週	月	2日			S603、S605、S606演習	S603、S605、S606演習	S603、S605、S606演習	
	火	3日			S603、S605、S606演習	S603、S605、S606演習	S603、S605、S606演習	
	水	4日						
	木	5日			S606演習	S606演習	S606演習	
	金	6日			S606演習	S606演習	S606演習	
第2週	月	9日	祝日					
	火	10日			S103、S606 SGD	S103、S606 SGD	S103、S606 SGD	
	水	11日						
	木	12日			アドバンス実習	アドバンス実習	アドバンス実習	
	金	13日						
学祭								
第3週	月	16日			アドバンス講義	アドバンス講義		
	火	17日			アドバンス実習	アドバンス実習		
	水	18日						
	木	19日			アドバンス実習	アドバンス実習		
	金	20日			アドバンス実習	アドバンス実習		
第4週	月	23日			アドバンス実習	アドバンス実習		
	火	24日			S302、S410～S413講義	S302、S410～S413講義		
	水	25日						
	木	26日			S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	
	金	27日			S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	
第5週	月	30日			S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	
	火	31日			S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	S302、S410～S413実習	
	水							
	木							
	金							

平成29年12月							
(週)	(曜日)	(日)	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
第1週	月						
	火						
	水						
	木						
	金	1日	S701講義	S701講義			
第2週	月	4日					
	火	5日					
	水	6日			S701実習	S701実習	S701実習
	木	7日			S701実習	S701実習	S701実習
	金	8日			S701実習	S701実習	S701実習
第3週	月	11日			S701実習	S701実習	S701実習
	火	12日			S701実習	S701実習	S701実習
	水	13日			S701実習	S701実習	S701実習
	木	14日			S701実技試験	S701実技試験	
	金	15日					
第4週	月	18日					
	火	19日					
	水	20日					
	木	21日					
	金	22日					
第5週	月	25日					
	火	26日					
	水	27日					
	木	28日					
	金	29日					

- [注]
- 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号（主となる）と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートをコピーして適宜追加し、作成してください。
 - 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。（例示：学祭、OSCE、予備日、祝日）
 - 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料12-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

施設 ¹⁾	座席数	室数	収容人員合計	備考
大講義室	225, 396	2	621	固定席
中講義室	100~198	8	800~1,213	固定席(5室)、可変席(3室)
小講義室	50~60	6	340	全て可変席
演習室	20~30	2	40~60	全て可変席
情報処理室	61	2	122	OBTにも使用、固定席
医薬品情報室	32	1	32	固定席、学生に開放(PC32台)
実験・実習室	60, 120	3	300	衛生化学、生薬、化学系、生物系、基礎科学、物理系
実験・実習室	60	1	60	微生物、薬理学、薬剤学、生物系、調剤学
医療系(事前実習)実習室	30, 60	5	270	模擬病院薬局、模擬調剤薬局、模擬病室含む
学生自習室	46, 88	2	134	可変席
薬学実習棟1Fホール	16	1	16	可変席
薬用植物園	<p>※以下の概要を任意の様式で記載してください。</p> <p>1) 設置場所(薬学部キャンパス内か別キャンパスか) 平成17年、大学の敷地内に造園された。</p> <p>2) 施設の構成と規模 8,700㎡の敷地、同心円状の庭園式薬用植物園になっている。</p> <p>3) 栽培している植物種の数 木本、草本で140種類。</p> <p>4) その他の特記事項 平成25年4月、日本植物園協会入会。 平成28年7月、薬用植物栽培研究で福島県内の平田村と協定を締結した。</p>			

- 1) 総合大学では薬学部の教育で使用している講義室、演習室、実習室などを対象にしてください。
- 2) 講義室・演習室には収容人数による適当な区分を設け、同じ区分での座席数の範囲を示してください。
また、固定席が可変席か、その他特記すべき施設などを、例示を参考に記入してください。

(基礎資料15) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧			
大学名	奥羽大学	分野名	薬理学
職名	教授	氏名	佐藤 栄作
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1	教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	平成27年4月～	薬理学と病態治療学の使用教科書の要点をまとめたプリントを作成して配布し、授業時のポイントの把握や復習がしやすいように工夫している。
2	作成した教科書、教材、参考書 薬理学実習書	平成27年6月～	薬理学実習用のテキストを作成し、毎年改訂作業を行っている。
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		特になし
4	その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		
	奥羽大学FD・SD研修会	平成29年4月24日	「大学生のメンタルヘルスについて」
	奥羽大学FD・SD研修会	平成29年5月25日	「学生の自殺防止のガイドラインについて」
	奥羽大学FD・SD研修会	平成29年6月23日	「学生満足度調査からみえてきた本学の改善点」
	奥羽大学薬学部FD研修会	平成29年8月24日	「改訂コアカリに対応した薬学教育のあり方」
	奥羽大学FD・SD研修会	平成29年9月22日	「大学教育の質保証」
	奥羽大学FD・SD研修会	平成29年11月16日	「医療機関における個人情報保護法への対応」
II 研究活動			
1. 著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌(巻・号数)等の名称
(著書) Web版 Hybrid book 薬理学演習	共著	平成29年1月	廣川鉄男事務所
(論文)			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
(演題名) 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、心疾患)を有する大腸がん患者の抗悪性腫瘍薬と有害事象に関する影響力の推定		平成29年6月	日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会
(演題名) 分子標的薬服用患者における有害事象の発現頻度に及ぼす合併症の影響		平成30年3月	日本薬学会第138年会
III 学会および社会における主な活動			
平成元年4月～現在	日本薬理学会会員(平成16年～ 評議員)		
平成9年4月～現在	日本生化学会会員		
平成9年4月～現在	日本循環器学会会員		
平成14年4月～現在	日本心脈管作動物質学会会員		
平成27年9月19日	平成27年度奥羽大学公開講座 講演「薬はなぜ効くの?」		